

# 連結決算補足説明資料

2023年3月期

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年5月11日

(証券コード：9640)

**株式会社セゾン情報システムズ**

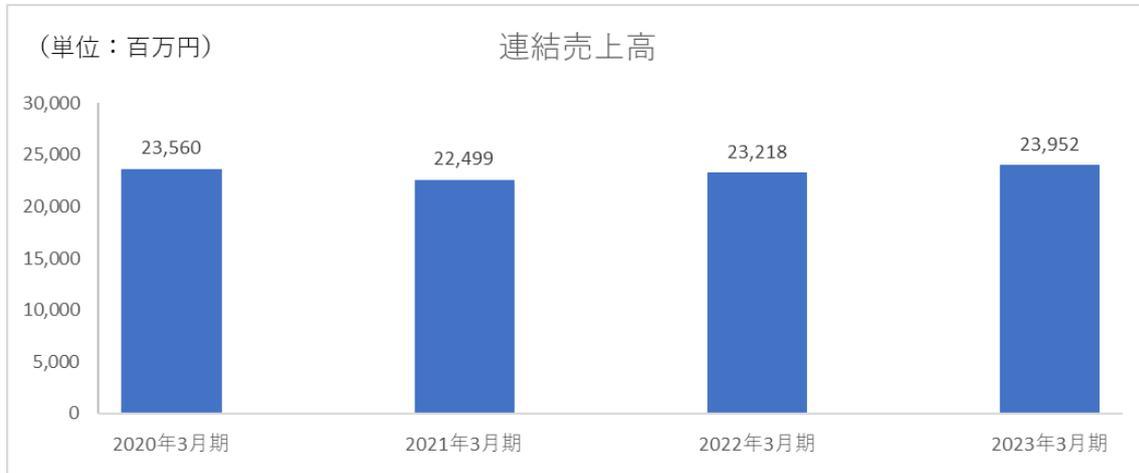
## 目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
  - ① HULFT 事業
  - ② データプラットフォーム事業
  - ③ 流通 IT サービス事業
  - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 1. 連結売上高・連結営業利益の推移

## ■連結売上高



### <当連結会計年度>

連結売上高は、堅調な DX 関連システム需要を受けて、HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により、23,952 百万円（前年同期比 733 百万円増）となりました。また、通期計画値（23,500 百万円）を上回りました。

### <2022 年 3 月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンケージ事業及び HULFT 事業の売上が増加（前年同期比 719 百万円増）

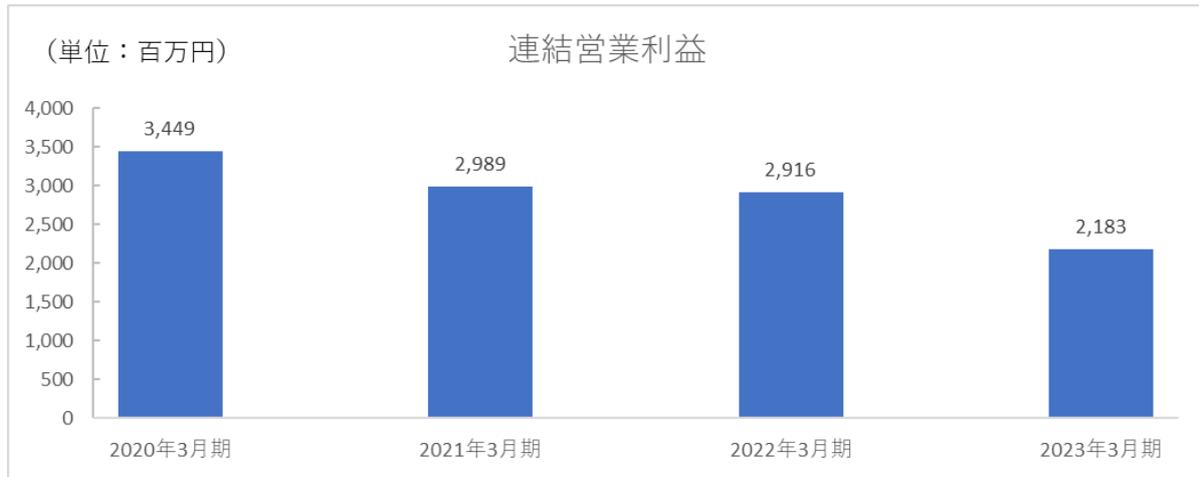
### <2021 年 3 月期（通期）>

- 成長の柱に位置付けているリンケージサービスが進展。一方、流通 IT サービス事業及びフィナンシャル IT サービス事業の既存領域におけるシステム開発・運用案件は減少（前年同期比 1,061 百万円減）

### <2020 年 3 月期（通期）>

- Fintech プラットフォーム事業（現 フィナンシャル IT サービス事業）の既存領域におけるシステム開発案件が減少する（前年同期比 1,397 百万円減）も、HULFT 事業ライセンス販売好調（前年同期比 917 百万円増）
- リンケージビジネスが事業の柱に成長
- 子会社株式会社アプレッソを 2019 年 4 月 1 日付で吸収合併（⇒適時開示、2019 年 1 月 30 日）

## ■連結営業利益



### <当連結会計年度>

連結営業利益は、「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への投資に関わる費用投下等により、2,183百万円（前年同期比732百万円減）となりました一方、売上高が増加したことや、当連結会計年度において増加予定としておりました体制強化に伴う費用の一部が翌連結会計年度にずれ込んだこと等により、通期予想（1,900百万円）は上回りました。

### <2022年3月期（通期）>

- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比72百万円減）
- 2016年3月期末から事業の選択と集中、業務プロセスの刷新・最適化に取り組んできたことにより生産性が向上し、1人当たり売上高は32.9百万円（2016年3月期比35.2%増）、1人当たり売上総利益は14.2百万円（同109.4%増）に成長しております。

### <2021年3月期（通期）>

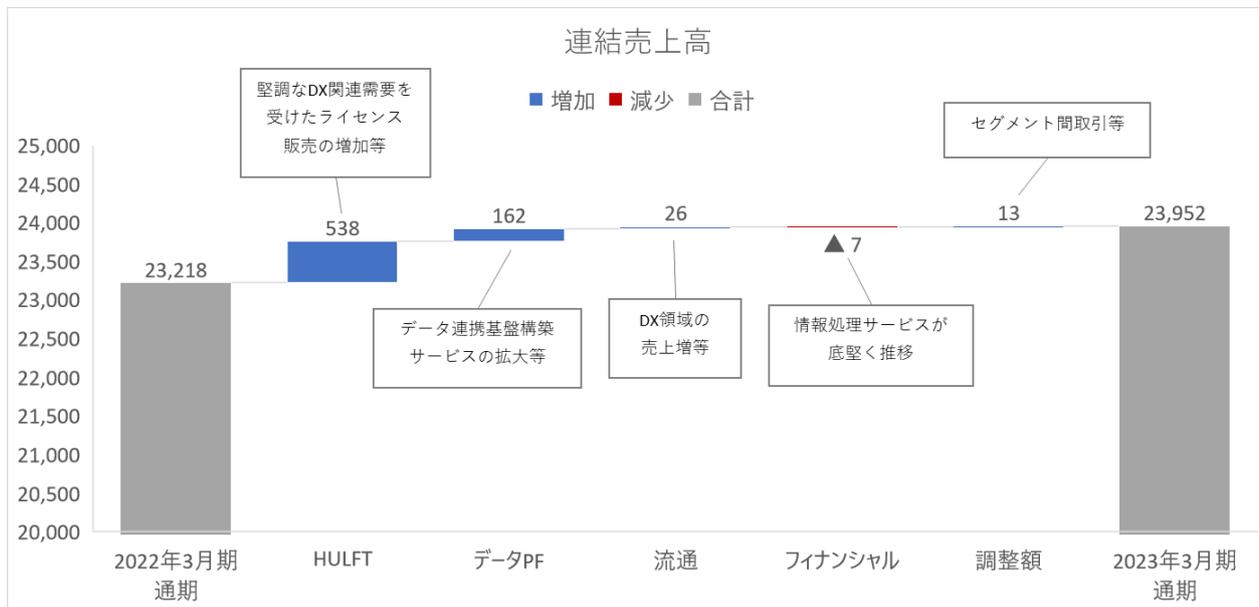
- リモートワークの拡大、イベント・商談のオンライン化等による生産性向上の取組みが奏功したものの、「HULFT Square」に関わる研究開発費が増加（前年同期比460百万円減）
- 2016年3月期末から事業の選択と集中、業務プロセスの刷新・最適化に取り組んできたことにより生産性が向上し、1人当たり売上高は31.4百万円（2016年3月期比29.1%増）、1人当たり売上総利益は13.3百万円（同96.3%増）に成長

### <2020年3月期（通期）>

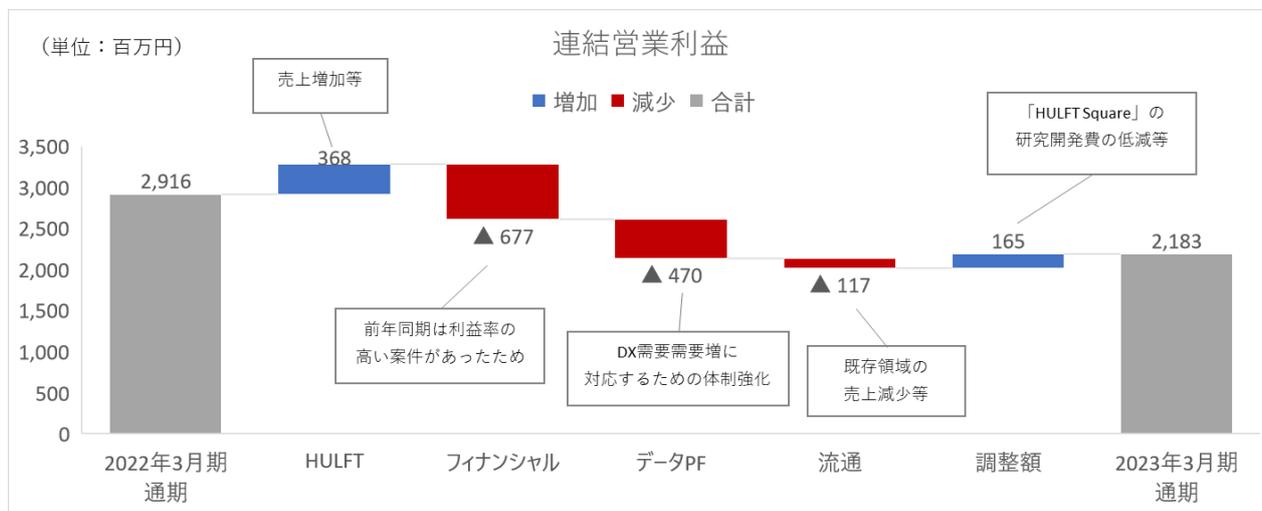
- 売上高が前年並みであった一方で、営業利益は増加（前年同期比1,116百万円増）
- 流通ITサービス事業において、既存領域の消費税増税対応案件が一時的に増加したこと等による利益増加（前年同期比262百万円増）
- HULFT事業においてライセンス販売が好調であったことに伴い利益増加（前年同期比798百万円増）

## 2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

### ■連結売上高



### ■連結営業利益



※連結営業利益における調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない「HULFT Square」に係る研究開発費等であります。

※セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT：HULFT 事業

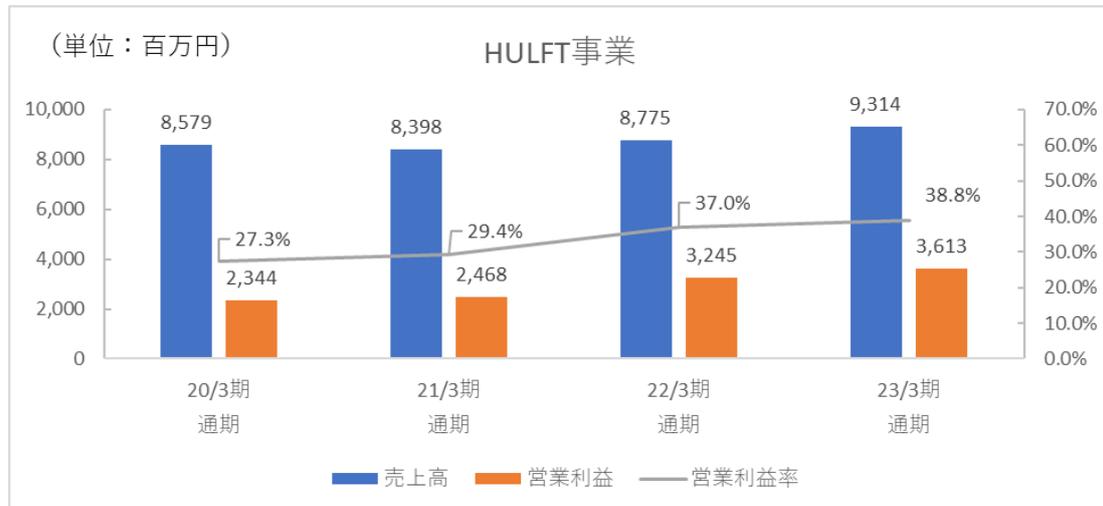
データ PF：データプラットフォーム事業

流通：流通 IT サービス事業

ファイナシャル：ファイナシャル IT サービス事業

### 3. 事業セグメント別の損益状況

#### ① HULFT 事業



#### <当連結会計年度>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、主力製品のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 538 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 368 百万円増）

#### <2022 年 3 月期>

- 「HULFT」「DataSpider」のサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 376 百万円増）
- お客様への提案モデルの具体化等、営業活動の改善による生産性向上に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 777 百万円増）

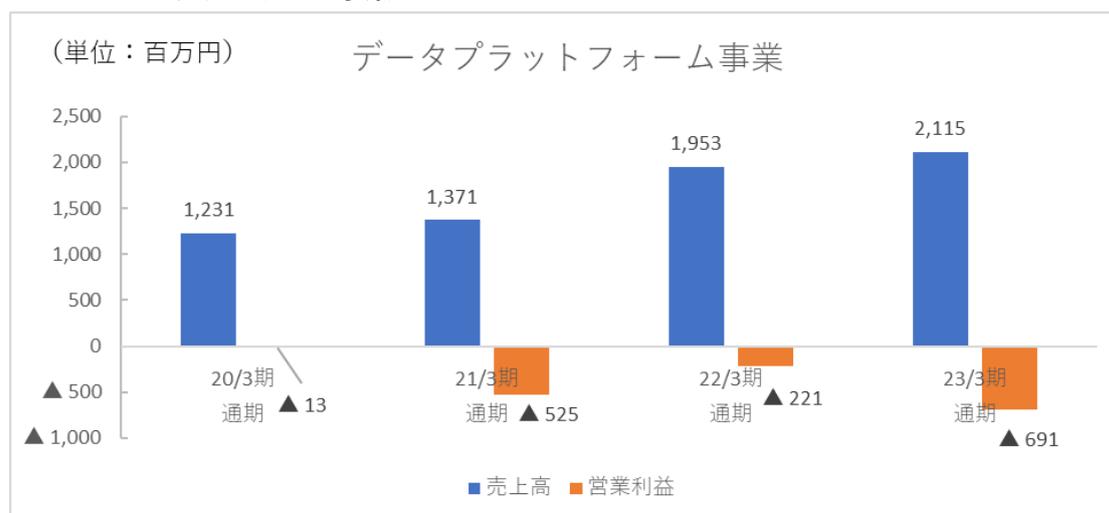
#### <2021 年 3 月期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のサポートサービスが増加したものの、サーバ向け基本ソフトウェア（OS）等の他社製品のサポート終了に伴う一過性のリプレース需要が一段落した影響を受けたことに伴い、売上高減少（前年同期比 180 百万円減）
- イベント・商談のオンライン化、営業活動品質・生産性向上等に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 124 百万円増）

#### <2020 年 3 月期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のライセンス販売が大幅に増加したことやサポートサービスが拡大したことにより売上高増加（前年同期比 917 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 799 百万円増）

## ② データプラットフォーム事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンケージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021年3月期から「リンケージ事業」として分離独立しています。また、2023年3月期から「リンケージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

### <当連結会計年度>

- データ連携基盤構築サービスが拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 162 百万円増）
- 今後の DX 案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により 691 百万円の営業損失（前年同期は 221 百万円の営業損失）

### <2022年3月期>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 581 百万円増）
- 上記サービスの拡大に伴う 1 人当たり売上高及び 1 人当たり売上総利益の改善による収益性向上に伴い、営業損失は 221 百万円（前年同期は 525 百万円の営業損失）まで改善

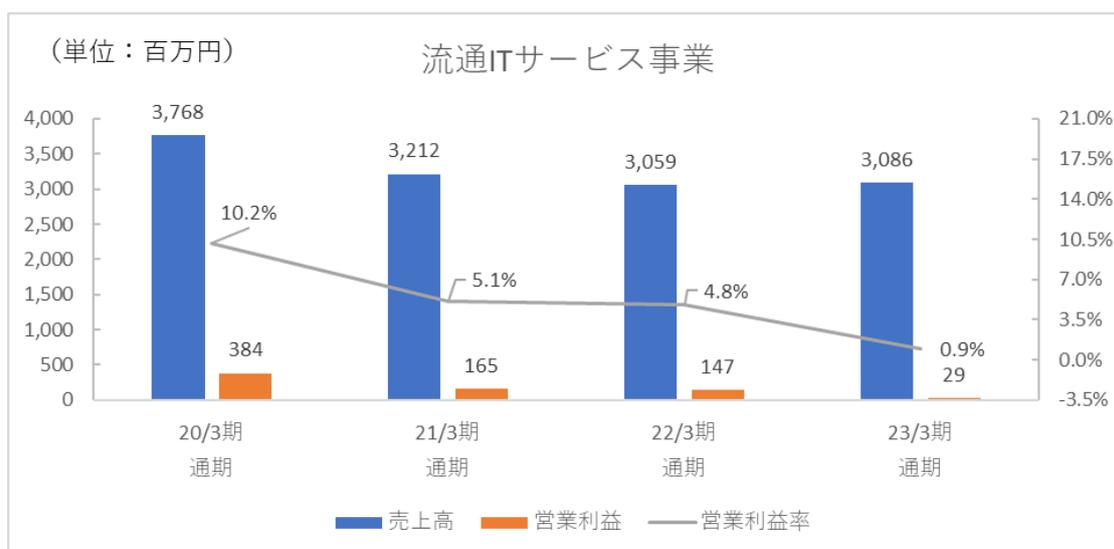
### <2021年3月期>

- データ連携基盤構築サービスを中心に新規顧客の契約数増加及び既存顧客との取引拡大が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 140 百万円増）
- 今後の事業拡大を目指した人員増加等に伴う販売費及び一般管理費の増加等に伴い、営業損失は 525 百万円（前年同期は 13 百万円の営業損失）となりました。

### <2020年3月期>

- リンケージサービス案件が順調に増加
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加に伴うコストが増加したことによる営業損失

### ③ 流通 IT サービス事業



※2021年3月期から流通ITサービス事業はリンケージビジネスを分離独立しています。2020年3月期以降は、リンケージビジネスを分離させた調整後の数値です。

#### <当連結会計年度>

- 当社の強みが活きるDX領域の規模拡大等により売上高増加（前年同期比26百万円増）
- 既存領域に関わる情報処理サービスの減少等により営業利益減少（前年同期比117百万円減）

#### <2022年3月期>

- 当社の強みが活きるDX領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比153百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比18百万円減）

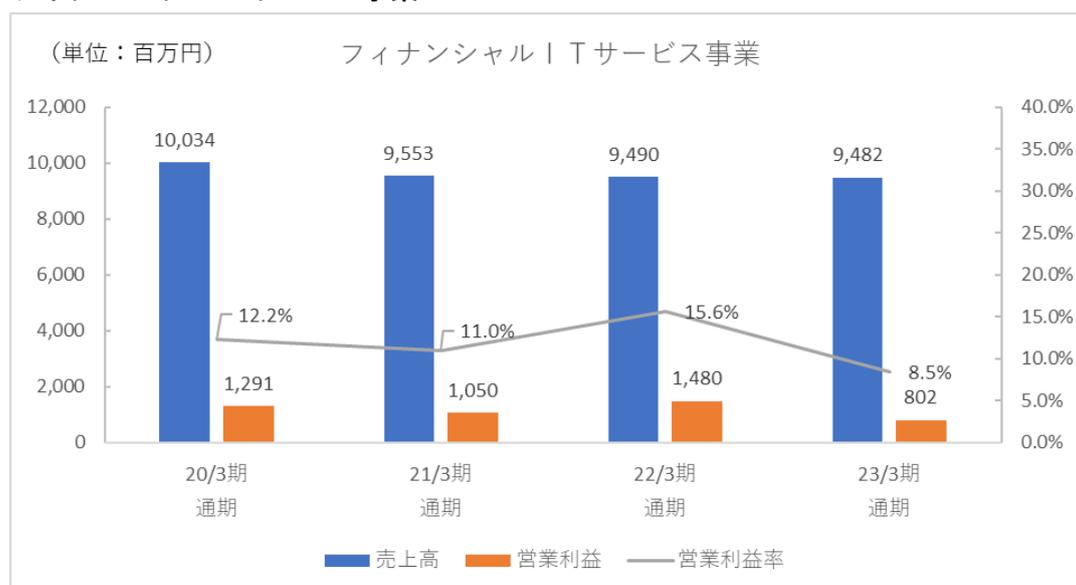
#### <2021年3月期>

- お客様の業務改善に向けたデジタル化支援等が進展したものの、システム開発案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比556百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比219百万円減）

#### <2020年3月期>

- 事業モデル転換が進み既存領域の案件が減少したことによる売上高減少（前年同期比796百万円減）
- 強みを活かせる案件へ限定したことにより利益率が向上（前年同期比276百万円増）

#### ④ フィナンシャル IT サービス事業



※2020年4月1日付で、Fintechプラットフォーム事業からフィナンシャルITサービス事業へ名称変更しております。

#### <当連結会計年度（フィナンシャルITサービス事業）>

- 情報処理サービスが底堅く推移したものの売上高減少（前年同期比7百万円減）
- 前連結会計年度に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比677百万円減）

#### <2022年3月期（フィナンシャルITサービス事業）>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供の進展及び一部利益率の高い案件の前倒し精算があったものの、既存領域に係る売上の減少等により売上高減少（前年同期比63百万円減）
- 減価償却の減少に伴い売上総利益が向上したこと等により、営業利益増加（前年同期比429百万円増）

#### <2021年3月期（フィナンシャルITサービス事業）>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供が進展したものの、既存領域におけるシステム運用案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比481百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比241百万円減）

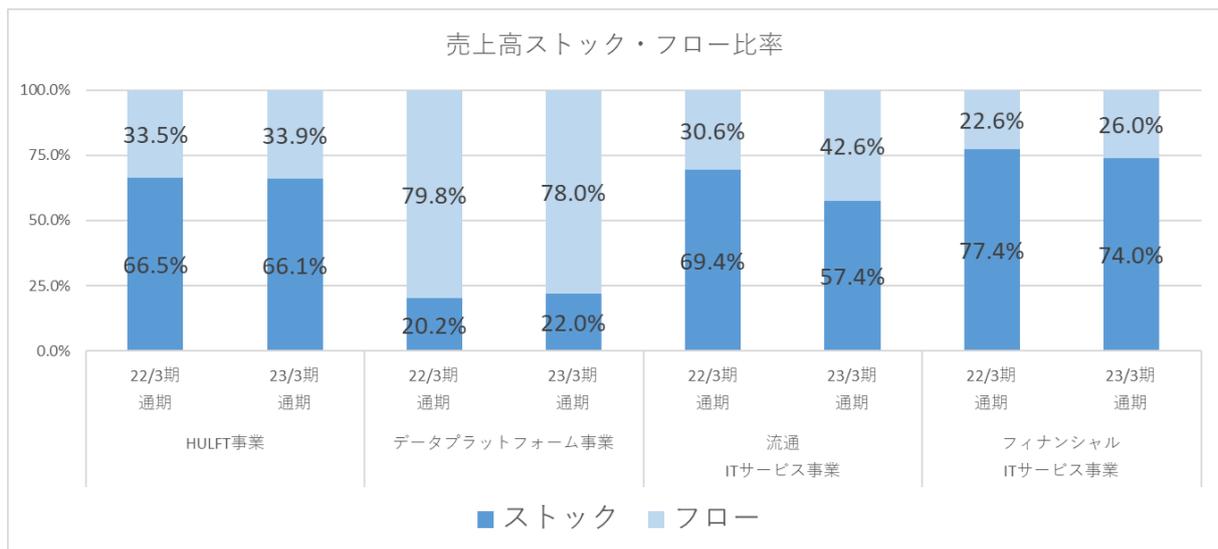
#### <2020年3月期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 既存領域におけるシステム開発案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比1,398百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比469百万円減）

#### 4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社は、2021年3月期から、HULFT製品及びクラウド技術を活用しファイル連携やデータ連携サービスをクラウド上で提供する次世代クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の開発に取り組んでおります。今後はサービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（HULFT等ライセンスのサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

## 5. トピックス

### ■ニュースリリース一覧（期間：2022年4月1日～2023年3月31日）

#### オウンドメディア「color is (カラー イズ)」をオープンしました

⇒企業としての志や思い描く未来を広く社外に発信し「企業」と「人」をつなぐサイトとして、オウンドメディア「color is (カラー イズ)」をオープンいたしました。

<https://sisco-owned.com/>

#### ウクライナで HULFT 製品ご利用のお客様へのご支援について

⇒ウクライナ地域で HULFT 製品をご利用のお客様に対して、年間技術サポート料及び月額利用料の1年間の減免対応を実施しております。

#### サステナビリティの取組み「ドネーションウォーク第2弾」を開始

⇒当社社員の歩行習慣の改善と社会貢献を連動させたプロジェクト「ドネーションウォーク第2弾」を開始しました。これは、社員が歩いた歩数を重さに変換し、同じ重さの食品を子供達への支援として寄附する取組みです。

#### セゾン情報システムズ、新代表取締役社長が就任

⇒第53期定時株主総会及び取締役会において、代表取締役社長 内田 和弘が2022年6月21日をもって退任し、後任として葉山 誠が就任することを決定いたしました。なお、内田 和弘は同日をもって顧問に就任いたしました。

#### 次世代クラウド型データ連携プラットフォーム『HULFT Square』先行ユーザー向けリリース

⇒次世代クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square (ハルフトスクエア)」を、先行ユーザー様向けにリリースすることを発表いたしました。

#### 「HULFT Multi Connect Service ライト版」を10月より提供

⇒ISDN サービス終了を代替するため、インターネットでセキュアなファイル転送を実現する「HULFT Multi Connect Service」のライト版を新たにリリースしました。これにより、エンタープライズ版の基本機能はそのままに、利用規模を中小規模システムに最適化して利用しやすい価格帯までサービスラインナップを拡大しました。

## ～変革リーダーによる特別講義イベント <未来へのコード VOL.1>～

### インフルエンサーマーケティングによるデータ活用の重要性和ITエンジニアとしてのマインド

⇒当社オウンドメディア「color is」では、可能性を広げ、行動へつなげるさまざまな人、在り方、価値観に出会うきっかけを発信しております。この度新企画として、変革リーダーによる特別講義を提供するイベント「未来へのコード」を立ち上げました。第1回目イベントとして株式会社 BitStar 執行役員 CTO 山下 雄太氏を迎え、昨今注目を集めるインフルエンサーマーケティングとデータ活用の重要性、これからの IT エンジニアに求められるマインド、そしてご自身のブレークスルーとなったご経験等を講演いただきました。

### 「HULFT Multi Connect Service ライト版リリースキャンペーン」実施のお知らせ

⇒「HULFT Multi Connect Service ライト版」の利用を検討されるお客様向けに特別価格で提供を行うキャンペーンを実施しました。

### 「第17回 日経 IR・個人投資家フェア 2022」に参加し、会社説明会を実施

⇒当社は、8月26日（金）～27日（土）に開催された個人投資家様向けイベント「第17回 日経 IR・個人投資家フェア 2022」（主催：日本経済新聞社）に参加し、会社説明会を行いました。会社説明会では、代表取締役社長 葉山 誠より、IT 業界の動向や当社の取組みについてご紹介しました。

### 「HULFT」ファイル転送ツール分野において19年連続国内市場シェア1位を獲得

⇒当社製品「HULFT」が2022年7月に株式会社富士キメラ総研より発行された「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」のファイル転送ツール分野において、19年連続で国内市場シェア1位を獲得したこと発表しました。

### 日本赤十字社より金色有功章を受章

⇒当社は、日本赤十字社から「金色有功章」を授与されました。「金色有功章」は日本赤十字社が創設している表彰制度のひとつで、一定額の社資（活動資金）を納めた功労者等に贈られるものです。また、当社の日本赤十字社への貢献に対する国からの表彰として「厚生労働大臣感謝状」も授与されました。

当社は、前年度の営業利益の1%を世界の生活者の生命・健康の増進や、飢餓・貧困からの救済活動を行っている団体へ寄付しています（2021年度は、日本赤十字社を含めた国内外の団体へ合計2,950万円の寄付を実施しました）。

### 「ノーコード推進協会」に参加

⇒IT人材不足の中、DXを進めるためには旧来型の企業システム開発やエンジニア育成だけで解決するのは困難です。ノーコード推進協会は、「ノーコード」がこの状況を解決できると考えております。当社は、この取組みが日本全体のDXを進める活動になると判断するに至り、同協会へ参加しました。

### ～変革リーダーによる特別講義イベント <未来へのコード VOL.2>～

#### 「エンジニアリング組織論への招待」（株式会社レクター代表取締役 広木 大地氏）

⇒変革リーダーによる特別講義を提供するイベント「未来へのコード」の第2回目として、株式会社レクター代表取締役 広木 大地氏をお迎えし、著書「エンジニアリング組織論への招待」をベースに、不確実性に向き合い、エンジニアリングにおける課題を解決する思考の整理方法やコミュニケーション、開発手法等をご紹介いただくとともに、ご自身のブレイクスルーとなったご経験等を講演いただきました。

### 場所にとらわれない柔軟な働き方を可能にする「遠隔地勤務制度」を導入

⇒当社は、社員がオフィスから離れた地域に居住し、原則出勤をせずに働くことを可能にする「遠隔地勤務制度」を導入いたしました。ビジネスモデルがDXにシフトするなか、「通勤圏内」という従来の制約を取り払い、場所にとらわれず柔軟に働き続けられる環境を提供し、全国からデジタル人材を確保することを目指します。

### 「HULFT Master Entry Service」終了のお知らせ

⇒「HULFT Master Entry Service」を2023年3月31日付で終了することを決定いたしました。

### カスタマーサクセスセンターが「2022 CRM ベストプラクティス賞」を受賞

⇒カスタマーサクセスにおける顧客とのデータを起点としたCRM向上活動が高く評価され、一般社団法人CRM協議会が主催する「2022 CRM ベストプラクティス賞」（継続賞）を受賞いたしました。

### 「HULFT DAYS (ハルフトデイズ) 2022」開催 (本イベントは終了しております)

⇒2022年11月8日(火)から10日(木)の3日間、オンサイトおよびオンラインにおいて、年次イベント「HULFT DAYS (ハルフトデイズ) 2022」の開催いたしました。今年のテーマは、「DXのバラバラを、スルスルに。」です。DXのボトルネックとなる、バラバラになりがちな業務で利用するデータをスルスルとつなぎ、経営判断につながるデータ利活用を推進し、業務全体の変革に役立つセッションを多数用意いたしました。

### サステナビリティの取組み「ドネーションウォーク 第2弾」

#### 上半期目標の2億4,000万歩を達成し、子供達への食糧支援を実施

⇒2022年4月より社会貢献と社員の歩行習慣の改善を連動させたプロジェクト「ドネーションウォーク第2弾」を開始し、上半期(2022年4月1日~9月30日)の目標である2億4,000万歩を達成いたしました。

今回の上半期の目標達成により、以下を支援いたしました。

1. 「認定NPO法人フリースペースたまりば」が子供食堂等を運営する「コミュニティスペースえんくる」(神奈川県川崎市)へお米800膳分を寄附
2. フードセキュリティの向上を目指して活動する「セカンドハーベスト・ジャパン」へお米800膳分を寄附
3. 「認定特定非営利活動法人 CLOUDY」を通じてアフリカ ガーナの子供達250人分の1ヵ月分の給食を支援
4. 「公益社団法人アジア協会アジア友の会」のカンボジアへ井戸を贈る活動に協賛

### 「第6回日経スマートワーク経営調査」で3.5星に認定されました

⇒働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する「第6回日経スマートワーク経営調査」において、3.5星に認定されました。

当社は、組織風土改革の一環として「自律自走を推進する人事プログラム」と「時間や場所に縛られない多様で柔軟な働き方」への刷新を続けてきました。また、新しい働き方を支える取組みとして「DXを活用した業務効率化」にいち早く取り組むことにより、リモートワーク勤務やフルフレックスタイム、遠隔地勤務制度の活用等、柔軟に働き方を選択できる環境を実現してきました。今後も多様で柔軟な働き方の推進を図るとともに、時代のニーズを的確に捉えたイノベーションで社会に貢献し、信頼される企業として持続的な成長を目指してまいります。

### **「HULFT Multi Connect Service」閉域回線オプションを提供開始**

⇒これから終了を迎える ISDN サービスを代替する「HULFT Multi Connect Service」と、株式会社エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケーションズが提供する「Master's ONE CloudWAN」を接続し、「HULFT Multi Connect Service」の閉域回線オプション「HULFT Multi Connect Service 接続専用ルータ for Master's ONE CloudWAN」の提供を開始いたしました。

### **「一般社団法人金融データ活用推進協会」に入会**

⇒当社は「一般社団法人金融データ活用推進協会」に入会いたしました。当社は同協会に入会し、委員会の一つである企画出版委員会において、当社製品である「HULFT」及び「DataSpider」を利用したデータ活用例、データ連携に関する課題解決、事例等についての情報発信を行うとともに、金融機関をまたいだデータ活用等に関する議論に貢献してまいります。また、DX人材の育成やデータ連携基盤構築といった内容についても、積極的に参加企業と交流を図ります。

### **「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」の更新**

⇒当社は、東京証券取引所の市場区分の変更にあたり、移行先であるスタンダード市場の上場維持基準のうち、流通株式比率を充たしていなかったことから、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を2021年12月15日に開示した上で、同市場に移行しております。2022年9月30日時点においても、流通株式比率は上場維持基準の充足に至っていないことから、2022年12月15日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を更新しております。本計画に従い、引き続き上場維持基準適合に向けた取組みを進めてまいります。

### **DataSpider、アイティクラウド株式会社が運営する「ITreview」における 表彰「ITreview Grid Award 2023 Winter」において、「データ連携」カテゴリにおける 「Leader」に選出**

⇒「ITreview Grid Award」とは、ITreview で投稿されたレビューをもとに四半期に一度ユーザーに支持された製品を表彰する場です。認知度と満足度が共に高い評価を得ている製品が「Leader」として表彰されます。

### 「一般社団法人 IT キャリア推進協会」に入会

⇒同協会は、データ活用／データ連携といった企業の業務部門の DX 推進に必要な IT 人材を、東京商工会議所と協力して育成しています。当社は、当社製品を利用したデータ活用／データ連携及び課題解決に関する情報を発信するとともに、加盟企業と交流していきます。また当社エンジニアが先端技術に関する研究会に参加し、今後の製品・サービスに活用するための情報も収集していきます。昨今、IT 人材の採用・育成が困難になりリスキリングなどと言われる時代背景にあり、同協会と連携しながら人材の確保や育成に努めていきます。

### HULFT、米「Manufacturing Technology & Insights」誌のスマートファクトリー・ソリューション・プロバイダーのトップ 10 に選出

⇒Manufacturing Technology Insights 誌の 12 月号で、HULFT が 2022 年のスマートファクトリー・ソリューション・プロバイダーのトップ 10 に選出されました。この受賞者リストには、HULFT だけでなく、General Electric や Mitutoyo American といった著名なグローバルメーカーや、Plex Systems や Software AG といった大手ソフトウェア企業と共にランクインしています。

### 次世代クラウド型データ連携プラットフォーム『HULFT Square』をリリース ～DX を「スモールスタート」、「IT 担当負担軽減」で実現可能な iPaaS～

⇒当社は、グローバル対応する iPaaS「HULFT Square（ハルフトスクエア）」を、2023 年 2 月 9 日（木）より、国内向けにリリースすることを発表しました。「HULFT Square」は、iPaaS（Integration Platform as a Service）で、データ活用のための自由で安全なプラットフォームサービスです。高度なセキュリティのもと、クラウド同士・オンプレミス／クラウド間などのデータの連携を容易にし、データ活用のリスクと手間を削減することで、お客様の DX 推進を力強くサポートします。

### 「HULFT Square」向け ServiceNow コネクターを提供 ～ServiceNow 社が協力し、技術検証および認定取得～

⇒当社は、ServiceNow Japan 合同会社（以下「ServiceNow 社」）と協業し、iPaaS「HULFT Square」向けの ServiceNow 社の提供するサービス（ServiceNow の各種サービス）に対応するコネクターの提供を開始しました。「HULFT Square」と「ServiceNow」の各種サービスの接続により、「ServiceNow」の各種サービスと企業のオンプレミスにある基幹システムや他の SaaS と連携し、データの加工、マッピングなどを含めたデータ連携が手間をかけることなく可能になります。

### **AWS 社主催「年末 AWS GameDay 大会 for AWS Top Engineers」で 3 位入賞**

⇒当社は、2022 年 12 月 21 日に開催された、AWS 社主催の「年末 AWS GameDay 大会 for AWS Top Engineers」に参加し、3 位に入賞したことをお知らせいたします。この大会には 1 チーム最大 4 名（内 1 名は AWS Top Engineer であることが条件）として、24 チーム 93 名が参加されました。当社からは 2022 年 AWS Top Engineer として招待された小杉 隼人に加え、石丸 司、坪井 千春、山口 大輝の 4 名（1 チーム）で参加しました。

3 位入賞の理由として、今回参加したメンバーは日ごろから AWS を利用したお客様環境の運用業務をしているため、障害対応についてノウハウがあったことがあげられます。今大会では、システムの正常稼働時間が評価されるポイントとなるため、運用業務のノウハウを生かしたことが成功要因となりました。

### **HDI 格付けベンチマーク「クオリティ格付け(センター評価:メール)」**

#### **最高ランク三つ星を 2 年連続で獲得**

⇒当社は、世界最大のサポートサービス業界のメンバーシップ団体 HDI の日本拠点、HDI-Japan が主催する 2023 年度の「クオリティ格付け（センター評価：メール）」において、最高ランクの三つ星を 2 年連続で獲得しました。三つ星を受賞した当社の HULFT テクニカルサポートセンターは、「顧客の問題にオーナーシップを持って取り組み、知識が豊富で、代替案や利便性を考慮した追加情報提供など、幅広いサポートをしてくれます。」と審査員より高く評価されました。

### **サステナビリティ方針の策定、マテリアリティの特定**

#### **およびサステナビリティ経営委員会の設置に関するお知らせ**

⇒当社の企業価値向上に向けて、サステナビリティを日常の経営活動の一環としてより積極的・能動的に推進するため、サステナビリティ方針の策定、マテリアリティ（重要課題）の特定およびサステナビリティ経営委員会の設置について決定いたしましたので、お知らせいたします。

---

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営企画室 IR 担当

Tel : 03-6370-2930

URL : <https://home.saison.co.jp/>